

デング熱（蚊媒介性感染症）に対する熱海市の状況

1 熱海市の体制

熱海市では、平成10年頃までは消毒の年間スケジュール表を作成し、市職員が消毒をしていました。しかし、現在では、町内会等が自主的に消毒する場合の消毒機の貸し出しや消毒薬の提供をしています。市としては、日頃から住民等からの要請があれば、いつでも対応できる準備をしています。市の害虫駆除機の保有台数は6台（手押し式1台、肩掛け式5台）です。

2 今回の対応

9月17日 13:00 熱海保健所より第1報を受信
初島の民間事業所勤務の男性で、最近首都圏へ出かけている

9月18日 9:00 静岡県が報道発表
9:30 地元説明会開催

12:45 市による駆除作業実施

※ 初島区・民間事業者による蚊の駆除作業（9/18、19、20、22）
側溝等に薬剤を散布しボウフラを駆除
ボウフラの発生を抑えるため、畑の溜り水を流す
その他の対応として、虫よけスプレー等を各施設に用意

10月 2日 初島区・民間事業所・市による全島一斉の駆除作業実施

3 現地の状況

駆除作業については、市民への二次感染の防止、及び発生した時期が秋の行楽シーズンであったため、観光業への影響を最小限にすることを目標に実施しました。また、風評被害を避けるためにも、観光客に安心して来てもらうため、島内全域で駆除作業を実施することとしました。

駆除作業は、初島区・民間事業所及び市が一丸となって実施し、その結果、二次感染者はでませんでした。また、観光客からの観光団体等への問い合わせもほとんどありませんでした。今回は、感染場所の特定はされませんでした。島民の結束も強くなったように感じています。

4 市の補助制度

町内や地域の害虫駆除に必要な駆除機を町内会が購入する場合、購入費補助金を交付しています。補助額は、（害虫駆除機の購入費）×（1/3）＝補助金（ただし、最高限度額10万円）です。

5 害虫駆除機の申請台数・交付額・貸出台数

年 度	害虫駆除機購入費補助金		貸出台数
	申請台数	交付額（千円）	
21	0	0	37
22	0	0	34
23	0	0	46
24	1	100	27
25	1	100	45

6 今後の対応

今年、デング熱に国内で感染した症例について、1940年代に報告されて以来、数十年ぶりに報告され、熱海市内でも患者が確認されました。国際的な人の移動の活発化から、来年度以降も発生する可能性があり、市としても発生の予防に向けた取り組みをしていく必要があると考えています。